

キア オラ、こんにちは。

## アオテアロア、ニュージーランド 随一の美しい名所 ピオピオタヒ ミルフォード・サウンドへ ようこそ。

サザン・ディスカバリーズは、ミルフォード・サウンドを本拠地として設立された最初のクルーズ会社です。一生に一度の機会に当社のクルーズをお選びいただけて光栄です。この地の魅力を皆さまと共有できることは私どもにとって何よりの喜びです。

### ピオピオタヒ：ツグミの歌う場所

マオリの伝説によると、フィヨルドを形づくったのは半神半人のトゥ・テ・ラキファノアでした。彼は魔法の手斧と呪文を使って最高傑作を削り出したのだそうです。ピオピオタヒとはマオリ語で「ツグミが1羽」という意味です。かつて英雄マウイが人類に不死をもたらすために戦ってこの地で倒れたとき、ツグミが1羽飛んできて喪に服した、と語り継がれています。正確にはピオピオはツグミに似た鳥なのですが、残念ながら既に絶滅しています。



### ミルフォード・ヘイヴン

狭い入り口近くをキャプテン・ジェームズ・クックほかヨーロッパの探検家が航行したことは何度かあったようですが、1823年に初めて進入しミルフォード・サウンドを「発見」したのはウェールズのオットセイ猟師、キャプテン・ジョン・グロノでした。グロノは自分の出身地にちなんでミルフォード・ヘイヴンと名付けましたが1851年にこのフィヨルドにしばらく停泊したウェールズ出身のジョン・ロート・ストークスがミルフォード・サウンドと改名しました。

### サザン・ディスカバリーズ

ミルフォード・サウンドにヨーロッパから最初に入植したドナルド・サザーランドは、1877年にフレッシュウォーター・ベイソンに小屋を建て、以後42年間をそこで暮らしました。妻のエリザベス・サミュエルとともにミルフォードで「都市建設」に着手したのですが、わらぶき屋根の小屋が3つと、ミルフォード初のホテルとなった18室の宿泊施設がひとつあるだけでした。1890年代にサザーランドはミルフォード・トラックを歩く人々のための渡し船を手漕ぎボートで出すようになりました。この事業が母体となってミルフォード・サウンド初のクルーズ会社、サザン・ディスカバリーズが設立されました。



## ミルフォード・サウンド クルーズのハイライト

ディープウォーター ベイソン

#### 1 フレッシュウォーター ベイソン

サザン・ディスカバリーズのクルーズはフレッシュウォーター・ベイソンに面したミルフォード・サウンド・ビジターセンターから出発します。この小さな入り江では海水より淡水の比率が高く、これが名前の由来となっています。

#### 2 ディープウォーター ベイソン

かの有名なミルフォード・トラックの終点にあたります。

#### 3 シンバッド溪谷

典型的な急勾配の谷。左側は1445mのフィリップス山、右側はマイター・ピーク、後方をローレニー山脈に囲まれています。

#### 4 マイター ピーク

標高1692mのマイター・ピークは海底からまっすぐにそびえ立つ山としては世界でもかなり高い部類に入ります。名前は形が司教帽(Mitre)に似ていることから付けられました。

#### 5 コッパー岬

銅の鉱床があることから名付けられたこの岬の辺りは、特に幅の狭い地形になっています。瞬間風速が毎時140kmを超えたという記録が残っています。

#### 6 フェアリー滝

滝にかかる虹が妖精を思わせる、ミルフォード・サウンドの代表的な見どころです。水量は多いものの、雨の降らない日が2、3日も続くとこの滝は枯れてしまいます。

#### 7 アニタ湾

その昔、先住民マオリが貴重な石タンギワイを求めて訪れていた場所です。これはグリーンストーンと呼ばれるヒスイの一種で、武器や装身具に加工されました。

#### 8 セント アンズ岬

海拔27mの場所に自動式の灯台があります。14km先の海上から確認できます。

#### 9 デール岬

タスマン海からミルフォード・サウンドへの入り口にあたります。幅はおよそ548m、水深は最大で70mくらいです。

#### 10 ザ・エレファント

この山の形は象の頭に似ています。頭頂部の近く、標高1507mの山から下へのびる斜面の一部がちょうど鼻のように見えます。

#### 11 ペンブローク山

標高2014m、フィヨルド内でも特に高い山。頂上は万年雪で覆われています。このフィヨルドを刻んだ元の氷河の一部がペンブローク山に残っています。雪解け水はいく筋かの小川をなし、ハリソン川となって流れていきます。

#### 12 シール ロック

海から上がって岩場でくつろぐオットセイがよく見かけられる場所です。この辺りのフィヨルドで通年暮らしています。

### 凡例

- クルーズ航路
- 天候に応じて航行するルート
- ミルフォード サウンド  
ビジター センター



southern  
discoveries



ミルフォード・サウンド  
クルーズのハイライト



あなたが体験した  
ミルフォード・サウンドの  
アドベンチャーをシェア

#southerndiscoveries

southerndiscoveriesnz  
southerndiscoveries  
Review us on TripAdvisor

### もっと楽しみたい方は

QRコードから予約を入れると、  
クィーンズタウンのワイン・  
ツアーが15%引きになります



こちらをスキャン  
してください



southern  
discoveries

フリーダイヤル (NZ国内) 0800 264 536  
海外から +64 3 441 1137  
southerndiscoveries.co.nz  
info@southerndiscoveries.co.nz



## ミルフォード・サウンドの野生動物を保護しています

サザン・ディスカバリーズは、ミルフォード・サウンドの野生動物を次世代に受け継ぐ取り組みに注力しています。その一環として、タワキ・プロジェクトを通じて、ニュージーランドでも特に神秘的で希少な海鳥の1種であるフィヨルドランド・クレストッド・ペンギン（タワキ）の長期的な科学研究を支援しています。

このペンギンはフィヨルドランドの海岸沿いの降雨林に営巣しますが、調査は非常に困難です。

当社のスポンサーシップを通じて、研究者は謎に包まれたペンギンたちの日常に迫り、食習慣や繁殖行動、移動パターンなど、重要な情報を見出しています。

この貴重なペンギンの保護活動の支援は、絶妙なバランスの上に成り立つミルフォード・サウンドの生態系を守り、この野生動物の世界の素晴らしさを将来この地を訪れる人々にも見ていただけるようにすることに繋がります。

## フィヨルド？サウンド？

ミルフォード・サウンドは実はフィヨルドに分類される地形です。英語では地形の成り立ちの違いに応じてサウンドとフィヨルドを使い分けています。

- 地上にあった谷が沈むか、海面が上昇して溺れ谷になった場合はサウンド、氷河に削られてできた場合はフィヨルドと呼びます。
- 何百万年も前、ここにあった氷河は深い谷を刻みながら海へ向かって伸びていました。やがて氷河が後退し、海水が入ってきて、今見られるようなフィヨルドになりました。

### ご存知ですか？

ミルフォード・サウンドはニュージーランドで唯一、陸路でアクセスできるフィヨルドです。道路が使えるようになったのは、1935年から1954年まで、19年がかりで造られたホーマー・トンネルが開通してからのことです。

## 年間降水量

ミルフォード・サウンドは平均で年に182日が雨の日です。ニュージーランドで人が居住する地域では雨が最も多く、年間降水量は7000mm～9000mmと世界でも有数です。

アマゾンの密林をも上回る大量の雨のおかげで、フィヨルドを囲む緑豊かな森林が育まれ、切り立った崖を流れ落ちる見事な滝も見られるというわけです。



最も有名な雄峰  
**マイターピーク**  
—1,692M—

全長  
**16KM**

最も広い所で  
幅 **3KM**

年間降水量  
**600CM**  
以上

水深 平均  
**330M**

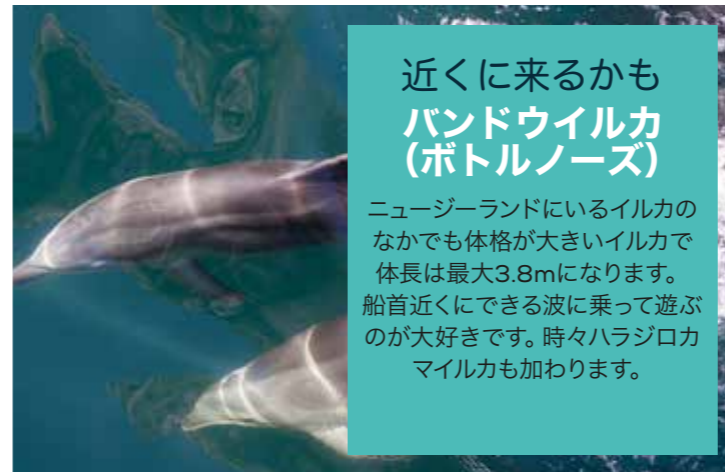
### ご存知ですか？

「世界8番目の不思議」：1891年にミルフォード・サウンドを訪れ、その美しさに魅了されたイギリスの作家、ラドヤード・キップリングの言葉です。



### 探してみよう ニュージーランド オットセイ

ミルフォード・サウンドに通年定住しています。海の中ではイカや魚をとって食べていますが、休憩のときはシール・ロックなどの岩場上がります。最大で水深380mまで潜ることができ、潜水時間は最大15分です。



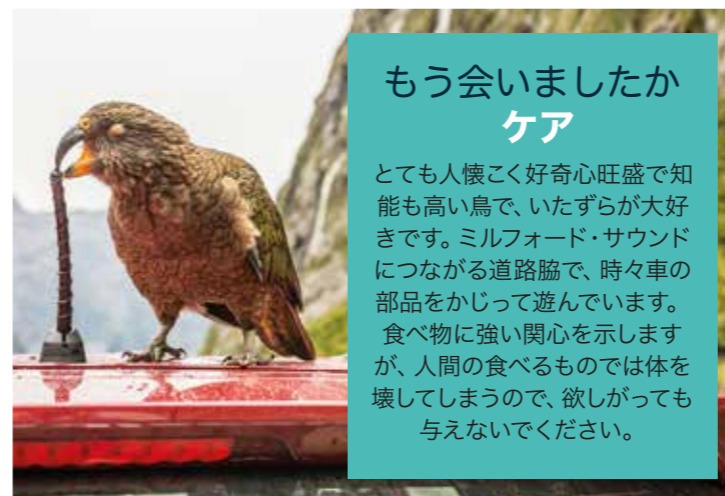
### 近くに来るかも バンドウイルカ (ボトルノーズ)

ニュージーランドにいるイルカのなかでも体格が大きいイルカで体長は最大3.8mになります。船首近くにいる波に乗って遊ぶのが大好きです。時々ハラジロカマイルカも加わります。



### ご紹介します フィヨルドランド クレストッド ペンギン

マオリ語ではタワキと呼ばれています。とても珍しい種類でたまにしか現れないので、姿を見かけたらラッキーです。毎年同じ営巣地に戻って、同じパートナーと子育てをします。繁殖期は8月から11月です。

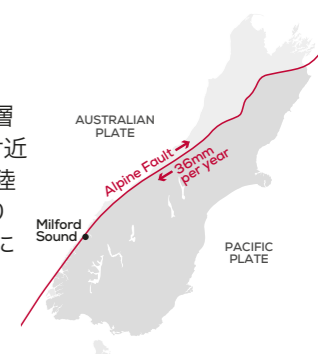


### もう会いましたか ケア

とても人懐こく好奇心旺盛で知能も高い鳥で、いたずらが大好きです。ミルフォード・サウンドにつながる道路脇で、時々車の部品をかじって遊んでいます。食べ物に強い関心を示しますが、人間の食べるものでは体を壊してしまうので、欲しがっても与えないください。

## 地殻活動

大きなプレートの境界に沿って走るアルパイン断層は世界でも有数の断層で、ミルフォード・サウンドの入り口付近を横切っています。オーストラリア大陸側のプレートは横向きに移動しており年に36mmの速度でフィヨルドの下に押し込まれています。上に乗っているプレートではその力で岩が押し上げられ、山岳地が形成されています。



### ご存知ですか？

ミルフォード・サウンドでは数百の滝が見られることもありますが、年中枯れない滝はステアリング滝とボウエン滝の2つだけです。ボウエン滝では水力発電が行われていてミルフォード・サウンドで使われる電力をすべて供給しています。

## 氷河作用

ミルフォード・サウンドの地形は氷河に削られてできました。今からおよそ2万年ほど前にピークを迎えた最後の氷河期には、この辺りははるか海上まで氷河に覆われていて、地上には山の頂が顔を出しているだけでした。

やがて地球が温暖化して氷河が後退し、海面が上昇しました。そしてミルフォード・サウンドの深い谷にも海水が入り、人が来るよりもずっと前に今のような地形になりました。